

中国文化講読 I

科目ナンバリング CHL-201
選択 2単位

原田 二郎

1. 授業の概要(ねらい)

「中国小説講読」。
中国の小説、とくに「怪異小説」を読み、その独特な人間観・世界観について考える。
妖怪、呪い、奇跡といった説話は、古代から中国小説の重要なテーマである。
それらの中から、中国の特色が顕著なものを選んで紹介する。
また適宜、香港のホラー映画などを鑑賞して、中国の「怪異」のイメージを多角的に紹介し、「異界から覗く中国文学史」をめざす。
前期は小説集『搜神記』を中心に読む。

2. 授業の到達目標

授業の到達目標 (Course Objectives)
・中国小説の特長を理解し、味わう。
・中国の冥界など怪異世界の特色を考察する。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験。

4. 教科書・参考文献

教科書
プリントして配布する。

5. 準備学修の内容

前回読んだ内容(小説のあらすじを知るだけにとどまらず、そこから分かる中国小説の特徴など)をよく復習しておく。下記「各回の授業内容」に即して原田が提示するキーワードについて、その問題性について調べ考察しておく。

6. その他履修上の注意事項

受け身的な姿勢でなく、積極的な学習態度を期待する。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入「小説」という語の源流と受難、『晋書』干宝伝
- 【第2回】 (以下、全て『搜神記』から)「周式」～冥界のイメージ
- 【第3回】 「張璞」～神と人間はどこまで接近できるか
- 【第4回】 「蒋子文」～神になった男、帰る
- 【第5回】 「泰山府君」(1)～冥界のシステム
- 【第6回】 「泰山府君」(2)～掟と禁忌 「河間男女」～奇跡に向かい合う人々
- 【第7回】 「韓憑」～中国の「トリスタンとイゾルデ」
- 【第8回】 「干将莫邪」～人間の執念
- 【第9回】 「范式」～死を超える友情
- 【第10回】 「費孝先」～3つの予言と殺人事件ミステリー
- 【第11回】 「管輅」～人の運命を決めるもの(1)
- 【第12回】 「二つの運命譚」～人の運命を決めるもの(2) 妖怪譚(1)
- 【第13回】 「宋定伯」～ユーモア 幽霊の特異性、妖怪譚(2)
- 【第14回】 「張助」「阮瞻」～神とは何か、幽霊とは何か
- 【第15回】 「千日酒」～ユーモア